

# 情報科

## 情報 I

### 1. 小学校・中学校との違い

小学校・中学校でのコンピュータの利用は、様々な教科の授業で、コンピュータリテラシーと情報モラルを身に付けることに重点にコンピュータが使われ、特に中学校では技術・家庭科の授業でコンピュータを活用した授業を受けたことがある生徒は少なくない。という認識の下、高等学校情報科の「情報 I」を構成しています。

高等学校の情報科は、より深く「情報社会」「情報デザイン」「デジタル」「ネットワーク」「問題解決」「プログラミング」について学んでいきます。

### 2 北園高校での情報

まず、知識と技術の底上げをします。「使い方を訓練する」時間を置き、タッチタイピングの定着を図ると共にコンピュータを「道具として使う」という選択肢を生徒個人がもてるような授業内容を用意しています。

各学校・各家庭でどの程度情報機器に接し、どのように使っていたかについて生徒個人に大きな差があるものの、この差をできるだけ感じさせたり、生じたりしないよう授業を展開します。もっている知識、技術を駆使してよりよい結果が得られる事に重点をおきます。

### 3 評価の観点

- 関心・意欲・態度について、身のまわりの問題を解決するために自ら進んで〔情報及び情報技術を活用したか。〕
- 思考・判断・表現について、問題を解決するために情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現したか。
- 技術について、情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱ったか。
- 知識・理解について、情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解したか。

これらの観点に基づき、授業の取組状況や、提出された課題、定期考査を総合して評価をします。